

# 轟 と ど ろ

平成20年10月30日

10月号

## 校区民体育祭妨害事件への学校警備に感謝

校区民体育祭の妨害事件が発生したことは、既に殆どの方がご存じと思います。市教育委員会は、緊急に校長・園長会議を開催し、市内全域で関係団体の協力を得て警備態勢を強化した上で計画どおり体育祭を実施しました。この間、土日に関係なく次のような協力をして頂きました。本当にありがとうございました。

- 氷川警察署・・・24時間巡回警備
- 鏡消防署泉分所・・・夜間巡回警備
- 消防団・・・20時～24時まで夜間巡回・正門警備
- 警備保障会社・・・0時～8時まで夜間巡回強化
- P T A・・・校舎周辺の可燃物整理作業
- 学校・・・夜間教室点灯～20日および週末を含め複数の教職員による8時～22時まで学校警備

## 3・4年の社会科見学を実施



本校の3・4年生の社会科見学は、毎年、泉町内の全小学校が一緒になって実施します。今年は16日(木)に氷川クリーンセンター、「味の嵯峨」弁当工場、石匠館の見学でした。どこの見学先でもマナーを守ってしっかり見学することができました。

## 高学年で研究授業を開催

子どもたちに学力をつけてあげたいという願いをもとに、教員の授業力を一層つけるため日々研究と修養に努力しています。15日(水)には学校の研究テーマに基づいて、5・6年担任の林教諭が全職員の前で面積と体積の授業のあり方についての研究授業に取り組みました。放課後には、その授業のあり方について全員で活発な話し合いをしました。



## 福寿草の運動会に今年も参加

17日(金)の午前中には老人保健施設「福寿草」の運動会に特別参加をして、運動会を盛り上げました。

これからも高齢の方々との直接交流を通して優しさに触れながら福祉に関する勉強も進めていきます。



## 校長コラム

人の命は尊いとはいうものの、毎日のように残忍な事件がテレビ等で報道されている昨今である。先日、国見岳の登山者が遭難され3名の方が熊本県側で救出された。本校の子どもたちの父親は仕事を休み、殆どボランティアで一つの命も亡くすまいと懸命に捜索に参加された様子を直接話を伺った。幾つかのグループに分かれ、早朝から急峻なルートを4～5時間かけて山頂に登り、声を張り上げながら捜索は続いた。その中心は地元を熟知した消防団員のお父さん方だった。ヘトヘトになりながらも夕暮れまで捜索を続ける捜索隊への炊き出しに頑張ったのは、本校の母親も加わった地域の方々ばかり。運動場で救出ヘリによって救助された方が隊員に深々と頭を下げ救急車で搬送される様子を目撃したり、捜索隊に加わった家族の話を聞き、子どもたちは、きっと命の尊さを肌で感じ取ったに違いないと確信した。学校では、すぐに各教室で救助活動から見える「命」について話し合ってもらった。特に本校は平家伝説の地、命の受け継ぎを絶やさないという祖先の強い思いを子どもたちに絶対に忘れさせてはならないと肝に銘じたところである。

## 収穫の喜び体験、高尾さんに感謝



「米」という漢字を分解すると「八十八」となります。昔から日本の主食として先人が苦労を重ね、八十八もの多くの手間暇をかけながら後世に伝えてきました。本来ならば、もっと子どもたちに米づくり体験に関わらせなかったところです。今年も高尾さんのご協力で鎌を手にしながらか穫できる喜びを体験できたことは嬉しい限りです。稲刈りで子どもたちの汗が染み込んだ米は、竿がけにして旨みを増させ脱穀体験へと繋がります。八十八もの苦労を惜しまず、流した汗の量だけ米の旨みも心の幅も増すのです。

## 大切な命を守る救助活動が目前で

19日から国見岳で遭難された方3名の捜索活動は、21日に警察・消防署・行政・消防団等による250名前後の協力により無事救出されました。本校のお父さん方を中心にした消防団員の方々のお陰で捜索は順調に進んだものの、地形の関係で捜索は困難を極めたそうです。遭難者の1人は、救助ヘリ”ひばり”で運動場に救出されました。幸いにして全員が生存と言うこともあって、その後に隊員の方々から「人の命を守る」ことについて、いろいろ教えてもらいました。



## 5・6年生がニュース番組取材の様子を見学

殆どのテレビ局が当地を訪れ救助活動取材しました。丁度、5年社会科習「ニュース番組ができるまで」を学習中だった高学年は、救助ひと段落状況を見計らって、テレビ局が救助本部でニュース番組につなぐ取材をしている様子を見学しました。

